

加太今昔

～加太線の歴史と沿線の観光～

日時：平成31年2月11日(月：祝日) 13:30～17:00

会場：河北コミュニティセンター

参加費：500円(資料代)

定員：60名(事前申し込み先着順)

● 第1部. 講演 13:30～14:30

加太地域の観光について

～その歴史と、これからの加太線沿線の観光について～

講師 利光伸彦氏 (大阪屋 ひいな湯 代表取締役)

● 第2部. パネルディスカッション 14:40～17:00

加太線と河西橋(旧加太線の紀ノ川橋梁)の歴史と謎

パネリスト

南海加太線むかしむかし

亀位 匡宏氏

(元和歌山社会経済研究所 主任研究員、和歌山県庁勤務)

加太線の車両の歴史

和田 康之氏

(鉄道写真愛好家)

河西橋の構造と歴史

武内 雅人氏

(元和歌山大学教育学部客員教授、元和歌山県教育委員会文化遺産課主幹)

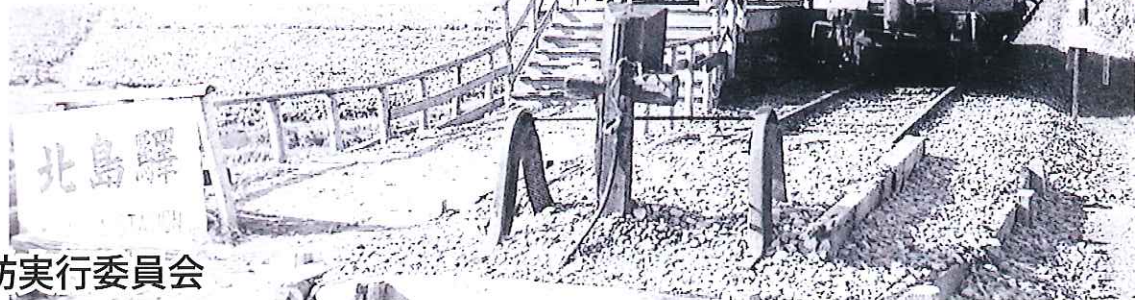
コーディネーター

寺本 東吾氏

(和歌山大学協働教育センター客員教授)

多くの近代化遺産は、その役目を終えてひっそりと姿を消していきます。加太軽便鉄道の紀ノ川橋梁として架橋されてから100年を超える河西橋も今上流側に建設中の新橋に役割を譲って、数年の内には姿を消すことでしょう。この機会に、廃止となった北島支線や、幾多の水害により、歩行者・二輪専用に変更された河西橋の歴史や謎にスポットを当ててみたいと思います。同時に、加太線が地域を支えてきた歴史を振り返り、沿線地域の明日の姿を探りたいと思います。

ありし日の北島駅と751 1957.1.27
和田康之 2005
『和歌山の汽車・電車 - 撮り続けて半世紀』
トンボ出版



主催：加太線歴史探訪実行委員会

共催：NPO 法人市民の力わかやま

後援：和歌山大学協働教育センター(愛称クリエ)、和歌山市、和歌山市教育委員会、和歌山県教育委員会

和歌山地方史研究会、一般財団法人和歌山社会経済研究所、加太観光協会、加太地域活性化協議会

ニュース和歌山株式会社、わかやま新報、株式会社テレビ和歌山、南海電気鉄道株式会社和歌山支社

利光伸彦氏

1966年 和歌山市加太生まれ。
 加太淡島温泉大阪屋 ひいなの湯 代表取締役社長
 加太観光協会 顧問、加太温泉協同組合 理事長
 和歌山県旅館組合副理事長
 和歌山大学協働教育センター(愛称クリエ)
 アドバイザリーボード委員
 大学を卒業後サラリーマンを経て、1996年に家業である旅館業を継ぐ。
 1999年に、友ヶ島航路継続の署名運動から加太の観光まちづくりが始まる。



寺本 東吾氏

1951年 田辺市生まれ、和歌山市育ち。
 静岡大学工学部卒業。
 和歌山大学クリエ特任教授(H25~H30)
 クリエ工作室での金属加工・ものづくりを指導
 NPO 法人市民の力わかやまにて、景観・まちづくり
 事業に参加。きのくに風景讃歌の取材で県下を回る。
 和歌山地方史研究会会員



亀位 匡宏氏

1962年 和歌山市生まれ。大阪市立大学経済学部卒業
 和歌山県庁勤務 元和歌山社会経済研究所主任研究員

和田 康之氏 鉄道写真愛好家

1933年 和歌山市生まれ。
 和歌山大学学芸学部卒業。大阪府下公立中学校勤務。
 写真集『和歌山の汽車・電車 - 撮り続けて半世紀 -』
 を2005年トンボ出版より発行



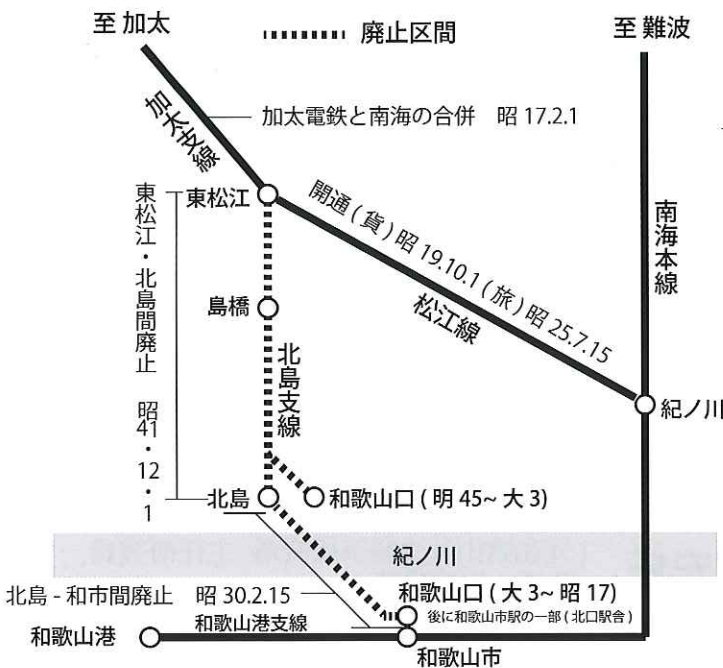
武内 雅人氏 近代化遺産愛好家

1952年 生まれ。法政大学経済学部卒業
 和歌山県教育委員会に勤務し、発掘調査や文化財保護
 に携わった。

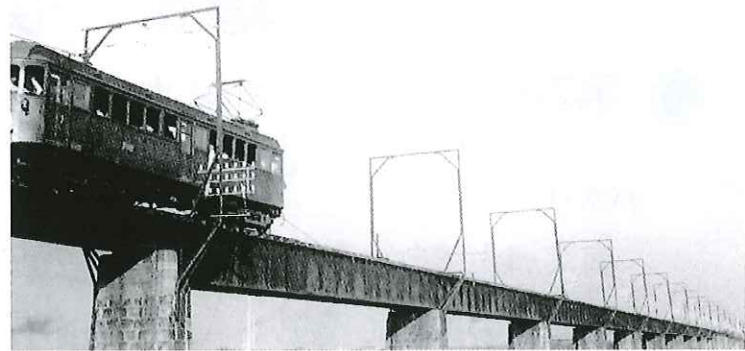
共著「和歌山県の歴史」山川出版社 2004年
 「中世都市根来寺と紀州惣国」同成社 2013年
 論文「丸瓦製作技術から見た近世瓦の生産と流通」
 ヒストリア 第173号 2001年



「煉瓦の規格比定による旧池田トンネル竣工年代の推定」考古学研究
 第63巻 第2号 2016年



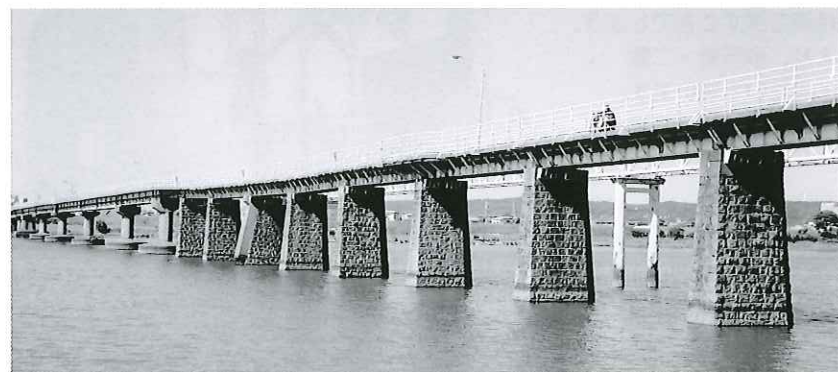
南海電気鉄道株式会社発売
 加太線開業 100 周年記念入場券より作成



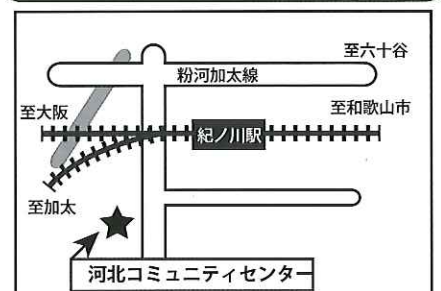
ありし日の加太線紀ノ川橋梁を渡るモハ701形702
 1952年(昭和27年)9月13日 撮影 和田康之

河西橋(旧加太線紀ノ川橋梁)

1914年(大正3年)加太軽便鉄道の紀ノ川橋梁として完成
 水害に何度も見舞われ1953年(昭和28年)の7.18水害の後、
 和歌山市が買収して道路(歩行者・二輪車)として昭和32年
 に河西橋として開通して今日に至る。
 老朽化が激しく、新橋がすぐ上流側に建設中である。
 左 2015年(平成27年)10月撮影



河北コミュニティセンターへのアクセス



南海電鉄 紀ノ川駅下車 徒歩約3分
 (西へ150メートル、踏切左へ150メートル)

申し込み お問い合わせ先

申し込み方法: FAX・メールにて、名前・住所・電話番号を
 お知らせください。

加太線歴史探訪実行委員会 事務局 寺本

FAX: 073 - 473 - 8814

E-mail: teratogo@center.wakayama-u.ac.jp